



**南高**  
進路だより

**律・啓・創**  
HOP! STEP! JUMP!

**10月**

令和2年10月5日  
福島南高・進路指導部



## 10月の行事予定



- |  |   |
|--|---|
| <p>1日(木) 後期始業式 衣替え<br/>第5回服装頭髪指導<br/>式①②③,昼休み⑤⑥⑦(④カット)</p> <p>2日(金) 大学入試センター試験願書発送<br/>全統マーク模試3年(～3日(土))<br/>第2回実用英語検定(1次試験)</p> <p>7日(水) 第2回防災避難訓練<br/>(①②③④⑥⑦、⑤カット)</p> <p>8日(木) 学びの森Ⅰ(2年⑤⑥)<br/>遠足(1, 3年)</p> <p>9日(金) ベネッセ駿台記述模試3年<br/>(～10日(土))</p> | <p>11日(日) 創立記念日</p> <p>13日(火) 1, 2年国文 British Hills 研修<br/>(～14日(水))</p> <p>15日(木) 学びの森Ⅱ(2年⑤⑥)</p> <p>16日(金) 就職試験開始</p> <p>23日(金) 全統記述模試3年(～24日(土))</p> <p>25日(日) 全商会計実務検定</p> <p>30日(金) 進研模試(1, 2年)<br/>ベネッセ駿台マーク模試(3年)<br/>(～31日(土))</p> <p>31日(土) 看護模試(3年)</p> |
|--|---|

**共通テスト 1月16日まで・・・あと103日**

## ☆1年生、福島大学へ行く☆

オープンキャンパスが例年のように開催されない中、本校1年生は9月17日(木)に福島大学訪問が実施されてとても貴重な経験をすることができました。この紙面をお借りしてご尽力いただいた関係各位に感謝の意を表したいと思います。当日、遠藤明子先生(経済経営学類准教授)からはCDや音楽配信など身近な例を題材にしてデジタル社会における経済学に関する模擬講義を、新藤洋一先生(アドミッションセンター特任准教授)からは「ちえみの法則」を元に進路選択へ向けてのサジェスションとなるような進路講演を拝聴することができました。以下に参加した生徒の感想(決意?!)を掲載します。何か進路選択、進路実現の参考になればと思います。

初めて経済について学んで少し面白いと感じました。私のスマホはアンドロイドなのでApple musicは使えませんが、最近たくさんあるサブスクのシステムを理解できた気がしました。「なぜ日本はCDが最も売れているのか」という問いに対して私は2つ考えました。1つ目は、まだCDでしか曲を出していないアーティストがいるからだだと思います。例えばジャニーズは嵐以外はCDでしか出していなかったはずですが、2つ目は、CDと一緒にDVDをつけたり初回特典があるからだだと思います。多くのアーティストがこの方法を使って売り上げを伸ばしていると思います。私は具体的に将来就きたい仕事が決まっています。そこにつながる学問を学びたいと思っていますが、今回教えていただいた「ちえみ」をやったり、適職診断を行ったりすると合わないことがほとんどです。まだ決めつけずに自分の可能性を増やせるよう高校の勉強を頑張ります。散策したときは高校とは違う雰囲気には驚きました。自分が志望している大学にも行ってみたいと思いました。  
(文理科 女子)

※ サブスク(サブスクリプション方式): ビジネスモデルの一つで商品ごとに購入金額を支払うのではなく一定期間の利用権として料金を支払う方式

福島大学見学会に参加してまず福島大学は緑に囲まれた自然豊かな場所なのだなあと感じました。実際敷地内に入ると建物がたくさんあり、さすが国立なだけあるなあと思いました。L-4というところで「デジタル財」という題材で大学の講義を受けましたが、スマホがあることによって不要な製品が多々あることや製品が提供する主な機能は同じでも形態が変わるデジタル財の中での非排他性・複製可能性・非空間性など少ない時間の中でもさまざまな内容が出てきて、質も中高とは比べるまでもなく画期的でした。

私はまだ将来の夢ややりたい職業が見つかっていないので自分のことについて散らかしながら決めていきたいです。今回このような状態の中で貴重な経験となったので今後自分の志望校への進学ができるよう頑張っていくという気持ちへと変化することができました。(文理科 男子)

福島大学の先生方の講義をお聞きしてみて興味深いお話だったなと思いました。まず最初の講義ではマーケティングについて Apple を例に説明してくださっていて自分の身近な音楽を聴くことについて多くのことを学ぶことができ良かったです。また、デジタル化が進んでいる世の中ということで、デジタル情報について少し知ることができました。自分にとっては少し難しい内容だと感じることもあったのですが、デジタル財などがどういうものなのかをしっかりとメモをとって聞くことができ良かったです。2つ目の講義では自分の将来や進路について考えるためのすごく大切なお話をお聞きすることができてとても勉強になりました。その講義の中でも特に印象に残ったことは、ちえみの法則というものです。自分が将来何をしたいかなどを納得がいくまで書き出し、その書き出したものを八・九つほどにしぼり、その選んだものについて細かく分解していくことで、自分を客観的に見て、しっかりと自分の意志を持つことが大切だということを知ることができました。高校一年生の今から、しっかりと自分の将来について考えようと思えた講義でした。この福島大学の見学で、大学について多くのことを知ることができ、良かったです。

(文理科 女子)

このコロナ禍の中、大学訪問ができたことを本当に嬉しく思う。私は大学に行こうと思っていたけれど、実際に“大学はどんなところか”、“何をやる場所か”、“自分はどんな大学が向いているのか”とほとんど大学のことを知りませんでした。しかし、今回の体験から、自分の将来についてより深く考えることができた。これから大事なことは、自分で生きていく力だということを知り、このコロナのように誰も予測できないことにもしっかりと向き合い、対応できるようになりたいと思った。四連休のうちにちえみの法則を実際にやってみて、自分の好きを見つけ、自分の進路についてしっかり考えてみようと思う。実際授業を受けてみて、自分の身近なことが例として取り上げられていたのですごく興味を持って集中して参加できた。私は今まで自分に興味があるものにしか目を向けていなかったけどもっと視野を広げていこうと思った。今回学んだことを生かして一人でもたくましく、自分のモノサシを持てるようになりたいと思う。スマホではなくパソコンを有効活用してしっかりと正しい情報を身につけて自分に合った大学を見つけ、その大学合格を目指して頑張りたいと思う。(国際文化科 女子)

私は先日福島大学へ行き、とてもいい経験ができました。学校の先生の話聞いていて、将来大学に進学したいと思っていました。ですが、正直未知の世界なので想像が付きませんでした。実際に大学へ行き講義や講演を聴き、構内散策をしたことで大学についてのイメージがふくらみ、目標を持つことができました。実際に話を聞く前は難しい内容なのではないかと不安でしたが、先生方の話はおもしろくて自然と聞き入ってしまいました。今回、お話を聞いて私は人生のヒントをもらった気がしました。自分で生きていく力を持つことの大切さや、自分だけのモノサシを持つ意味など、今後生活していく上でとても大切だと思います。コロナの影響もあり、オープンキャンパスなどが無い事はとても残念ですが、短い時間でも大学について知り、自分の将来について考えるきっかけができた事は私にとってとてもいい経験となりました。(情報会計科 女子)

## 【参考】

「ちえみの法則」とは？

“好きなこと”から学問分野・進路を選んでいく際のルーティンワークのひとつです。

ち：ちらかす…自分の好きなことをとにかくたくさん書いてみる。

え：えらぶ …「好きなこと」にはいろいろな関わり方がある。

例：サッカー →競技する →選手  
→作る →チーム運営  
→支える →トレーナー  
→伝える →記者

み：みがく …大学（専門学校）に行ってみがく。

上級学校選びの一つの方法だと思います。進路選びでまだ悩んでいる人がいれば、「ちえみの法則」を試しに一度実行してみて、「好きなこと」に関わる学問が学べる大学（専門学校）を探してみましょ。見つかったならば、もちろんその学校の情報収集もしてみましょ。

（皆さんの進路実現にご支援いただく保護者や先生方との相談、意思の疎通もお忘れなく。）

※「デジタル財」については各自調べて自分のポキャブラリーに加えてみてください。

## 【9月実施第2回進路希望調査分析】

第2回の進路希望調査の結果がまとまりました。そこに見られる特徴などを分析してみます。

（資料注） ○学年／学科／男女ごとの数字を表記

○割合は四捨五入の数字で計算されているため、合計が100%にならない場合あり

○比較は、前回4月調査との比較

[1年生] 進路未定者が減少したことは喜ばしい。されど…

進路未定が27名減少して8名(5.2%)となった。大学短大進学希望者は91名(59.1%)から109名(70.7%)と18名増加した。国立大学が減少し、公立大学、私立大学希望が増加した。ここで本当に学びたいことがその大学・学部・学科で学べるのか？と問いたい。まさか科目数を今から絞り込んでいるということはないと思いますが、まだ早いです。（入試科目にもある小論文、総合問題等を考えると不要な科目はない。）

就職希望者も18名(11.6%)から25名(16.2%)と7名増加した。この不安定な現状からか、公務員希望が多い。

就職するにしても進学するにしても本物になってください。（真の実力を身に付けてください。）早い段階で目標設定して着実に計画的に学習にも進路実現のための情報収集にも取り組んでください。（高校生は毎日が受験勉強です）。

[2年生] 1年生と傾向は似ていますが、皆さんに残された高校生活は1年生と同じではない。

大学短大進学希望者は99名(61.5%)から120名(74.5%)と21名増加した。1年生と同じく国立大学が減少し、公立大学、私立大学希望が増加した。就職希望者は18名(11.2%)から21名(13.1%)と3名微増、進路未定が21名減少して15名(9.3%)となった。1年生のところでも述べたが2年生も基本的に同じです。（1年生の内容を参照しましょう）あえて付け加えるならば、進学希望者も就職希望者も次の一手（第2志望、第3志望）もしっかり考えて情報収集しておくこと。そうすれば何を得意科目にすべきかがわかると思います。さらに弱点科目や分野をいかにして克服するかも調べたり、教科担当や担任の先生に相談したりしてじっくりと時間をかけて学習に取り組んでいきましょう。（正直言えば学習時間がまだまだ足りないのが皆さんの現状です。）

[3年生] 4月の進路希望調査結果とほぼ変化なし。（落ち着いて学習に取り組んでいますか?!）

進路希望調査の結果を考察するべきなのかもしれませんが、ほぼ4月と同じです。私見ですがよいことだと思います。文系では地歴公民、理系では数学に理科と入試の山場となりそうな学習内容がてんこ盛り状態だと思います。体調に留意して焦ることなく学習に取り組んでください。学習の成果が模試などの結果に表れるのは最短でも3ヶ月かかります。古い言い回しですが、現役生は最後の最後まで伸びる。（成長する）頑張れ!!

## 令和2年度 第2回 (9月) 進路希望状況

第1学年			文理科			国際文化科			情報会計科			合計内訳			割合	4月 割合	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
進学希望	大学	国立	立	11	28	39		2	2	2	2	4	13	32	45	29.2%	37.0%
		公立	立	3	10	13	3	6	9	2	1	3	8	17	25	16.2%	7.8%
		私立	立	3	10	13	3	11	14	4		4	10	21	31	20.1%	13.0%
	短大	国立	立													0.0%	0.0%
		公立	立		2	2								2	2	1.3%	0.0%
		私立	立		2	2	1	3	4				1	5	6	3.9%	1.3%
	専修学校 職業訓練施設 各種学校	専修学校	校	2	2	4		5	5		2	2	2	9	11	7.1%	5.8%
職業訓練施設		等													0.0%	0.0%	
就学希望	公務員	員							4	18	22	4	18	22	14.3%	11.0%	
	民間	間					1	1		2	2		3	3	1.9%	0.6%	
その他	その他	他							1		1	1		1	0.6%	0.0%	
	その他	定	2	4	6					2	2	2	6	8	5.2%	23.4%	
未合計			計	21	58	79	7	28	35	13	27	40	41	113	154	100.0%	100.0%

第2学年			文理科			国際文化科			情報会計科			合計内訳			割合	4月 割合	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
進学希望	大学	国立	立	14	10	24	2	5	7	1		1	17	15	32	19.9%	28.0%
		公立	立	6	12	18		3	3		2	2	6	17	23	14.3%	9.3%
		私立	立	8	20	28	7	20	27	4	3	7	19	43	62	38.5%	21.7%
	短大	国立	立													0.0%	0.0%
		公立	立					1	1					1	1	0.6%	0.0%
		私立	立		1	1		1	1					2	2	1.2%	2.5%
	専修学校 職業訓練施設 各種学校	専修学校	校		2	2				2	1	3	2	3	5	3.1%	3.7%
職業訓練施設		等													0.0%	0.0%	
就学希望	公務員	員	1		1				6	5	11	7	5	12	7.5%	8.1%	
	民間	間							2	7	9	2	7	9	5.6%	3.1%	
その他	その他	他													0.0%	0.0%	
	その他	定	4	2	6		2	2		7	7	4	11	15	9.3%	22.4%	
未合計			計	33	47	80	9	32	41	15	25	40	57	104	161	100.0%	100.0%

第3学年			文理科			国際文化科			情報会計科			合計内訳			割合	4月 割合	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
進学希望	大学	国立	立	11	14	25	1	2	3		4	4	12	20	32	16.3%	18.3%
		公立	立	3	7	10							3	7	10	5.1%	5.1%
		私立	立	4	18	22	5	23	28	9	6	15	18	47	65	33.2%	31.5%
	短大	国立	立													0.0%	0.0%
		公立	立													0.0%	0.0%
		私立	立	1	4	5		1	1	1	1	2	2	6	8	4.1%	2.5%
	専修学校 職業訓練施設 各種学校	専修学校	校	1	12	13		5	5	3	14	17	4	31	35	17.9%	17.3%
職業訓練施設		等	1		1							1		1	0.5%	0.5%	
就学希望	公務員	員	1		1		1	1	9	13	22	10	14	24	12.2%	11.2%	
	民間	間	1		1		1	1	5	12	17	6	13	19	9.7%	11.7%	
その他	その他	他								1	1	1		1	0.5%	0.0%	
	その他	定													0.0%	1.5%	
未合計			計	23	55	78	6	34	40	28	50	78	57	139	196	100.0%	100.0%